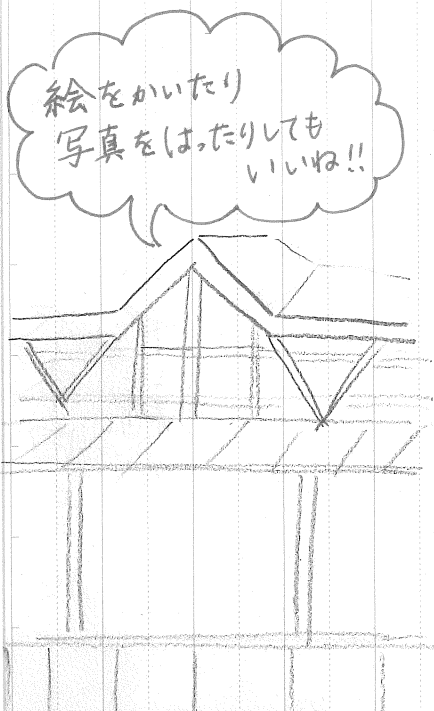


山手線「JR高輪ゲートウェイ駅」が開業。 四十九年ぶりの新駅。

シニアオール東日本(東日本旅客鉄道)は三月九日、田町〜品川駅間に三月十四日に開業する「高輪ゲートウェイ駅」を報道関係者向けに公開した。高輪ゲートウェイ駅は、山手線、京浜東北線が停車する駅で、「グローバルゲートウェイ品川」をコンセプトに進めている品川開発プロジェクト(第一期)において、新しい街の玄関口としてスタートする。

高輪ゲートウェイ駅は、斬新なデザインと環境に配慮した駅舎がひと際目を引く。デザインは東京大学教授で世界的建築家である隈研吾氏が手掛けており、「折り紙」をモチーフにした大屋根は造形が美しく、「和」をイメージした柔らかな外観が印象的だ。そのほかでは、省エネルギー、再生可能エネルギーなど、さまざまな環境保全技術を駅に採り入れた「エコステ」にも取り組んでいる点が注目すべきポイントになっている。タッチしやすい新型の自動改札機は二台用意されている。従来の改札機と異なり、タッチ部分がゲート脇に斜めに設置されており、車いすを使用している人でも容易に通過できるのが特徴だ。



二〇二〇年四月十七日(金)

「高輪ゲートウェイ駅」は、「和」をイメージした駅舎で、明るく、日の光を取り入れているところがいいと思った。

車いすでも利用しやすい、タッチ部分
がななめに設置された改札機を
実際に見てみたい。

テレビやインターネット、新聞などで気になった
ニュースについてまとめましょう。